

ID No.	123
研究課題名	単純ヘルペスウイルス 1 型を用いた口腔癌のウイルス療法
研究代表者	中原 寛和 (近畿大学医学部附属病院・准教授)
研究組織 受入教員 研究分担者	藤堂 具紀 (東京大学医科学研究所・教授) 寺尾 恭一 (近畿大学医学部附属病院・准教授) 土井 勝美 (近畿大学医学部附属病院・教授) 濱田 傑 (近畿大学医学部附属病院・教授) 宮澤 正顕 (近畿大学医学部附属病院・教授)
研究報告書	<p>脳腫瘍および前立腺癌に対し臨床治験を行いつつある、第三世代遺伝子組換えHSV-1 (G47Δ)を用い、口腔癌ウイルス療法の確立を目指した研究である。まず第三世代遺伝子組換えHSV-1であるG47Δが培養扁平上皮癌細胞に殺細胞効果を発揮するかを検討した。さらに培養扁平上皮癌細胞を用いたヌードマウスの<i>in vivo</i>の系においてのG47Δの効果を検討した。本研究結果でG47Δは培養扁平上皮癌細胞において、<i>in vitro</i>、<i>in vivo</i>の系においては効果を発揮することが解明された。現在、口腔癌の動物モデルとして、舌への腫瘍接種モデル、舌投与から頸部リンパ節への転移モデルを作成し、口腔癌モデルにおいても、G47Δが殺細胞効果および転移リンパ節においての殺細胞効果を発揮しており、臨床応用に際して、舌局所投与有効である可能性を示唆するデータを得つつある。さらに実際の投与を想定した、ウイルスの投与方法、投与経路において、効果の高いかつ安全性の高い投与方法の検討を行っている。</p>